

現行計画の評価

地福

障害

介護

各計画、いずれも毎年度事業評価シートにより事業の進捗状況を把握しています。現行計画の最終評価にあたって、庁内関係課にシートを配付し、計画期間中の進捗状況の総括や課題のまとめを行います。

●事業評価シート（イメージ）

施策の方向	取組	概要	担当課・機関	平成30年～令和5年の成果・課題		次期計画に向けた方向性
				【実効性】	【有効性】	
1-1 地域福祉の意識啓発	あいさつ・声かけ運動の推進	あいさつや声かけを通じ、隣近所との関係強化を推進し、地域の問題は地域で解決できる仕組みの構築を目指します。特に、見逃されがちな高齢者以外の要支援世帯への見守り対象の拡大を図ります。	社会福祉協議会	A	A	1
1-1 地域福祉の意識啓発	地域における福祉教育の推進	生涯学習の講座や社会福祉協議会の事業などにより、すべての市民を対象とした、福祉についての学習する機会の拡充を図ります。	社会福祉課 生涯学習課 社会福祉協議会	B	B	2
1-1 地域福祉の意識啓発	小中学校における福祉教育	福祉施設訪問、中学生体験学習、ふれあい交流、手話教室など、福祉教育活動の支援を行うとともに、「特別の教科道徳」や教科・領域との関連を図るようにしていきます。また、地域教育の一環として、地域ボランティアや地域の施設・事業所との連携を通して福祉教育を推進します。	学校教育課 社会福祉協議会	B	B	1
1-1 地域福祉の	男女共同参画	男女が、性別にかかわらず、子育てや介護、地域活動などにその個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指し、市民への関心や	市民協働課	D	D	4

A：できた
B：概ねできた
C：あまりできなかった
D：できなかった
E：評価不可

1：充実
2：継続
3：見直し・改善
4：完了
5：廃止

障害

障害福祉計画・障害児福祉計画に関しては、各サービス見込み量についての検証シートを作成し、第6期（第2期）計画値との比較・乖離検証を行います。

訪問系サービス		単位		R3年度	R4年度	R5年度
居宅介護等	利用量	時間/月	計画値	1,495	1,528	1,674
			実績値			
	実利用者数	人/月	計画値	91	93	96
			実績値			
日中活動系サービス		単位		R3年度	R4年度	R5年度
生活介護	利用量	日/月	計画値	3,980	3,980	4,000
			実績値			
	実利用者数	人/月	計画値	200	200	202
			実績値			
内々訓練	利用量	日/月	計画値	0	21	21
			実績値			

介護

介護給付分析では、第8期計画値との比較・乖離検証や基盤整備状況等の既存統計資料等から進捗評価を行います。さらに、「見える化」システムを活用し、市の特性が見える分析を行います。

●分析の視点

サービス利用状況	各サービスの利用実績を認定者別・時系列で分析を行い、利用傾向を把握
給付分析	国や都、近隣自治体等との比較を行い、市の傾向とその背景を分析

